

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	インターンシップ事業	部課名	産業経済部経営支援課	課長名	石原 久
		担当者名	古瀬秀幸	内線	459
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	インターンシップ事業（54-23-30-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	12年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	活力ある地域経済づくり[05]			
	施策	技術・技能承継の支援[05-06]			
目的	都立産業技術高等専門学校（航空工業高等専門学校）の学生が、区内の事業所で就業体験することにより、社会や職業の厳しさ、ものづくりの楽しさを学ぶとともに、区内企業の優秀な人材の雇用や産学連携を促進し、産業の活性化を図る。				
対象者等	区内の希望企業、産業技術高等専門学校（航空工業高等専門学校）の学生				
内容	<p>インターンシップの受入れを希望する区内企業において、以下により学生等が就業体験を行なう。</p> <p>実施時期 7月末～9月中旬 夏期休業期間中 実習期間 5日間 参加企業の募集 区報等により周知 実習生の募集 各学校からの推薦 保険加入 実習生の傷害及び損害保険に加入（区負担） 報告書の提出 終了後、企業及び実習生から報告書を提出</p>				
経過	平成13年度 インターンシップ事業として独立するとともに実施規模を2倍に拡大（6人 12人） 平成14年度 実施規模を拡大（12人 20人） 平成20年度 都立荒川工業高校が都の「技能習得型インターンシップ」を実施することとなったことから、当該事業に参加しなくなった。				
必要性	産学連携による若手技術者の育成、区内企業の雇用促進の面から必要性は高い。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	610	635	564	604	604	611	611	
決算額（20年度は見込み）	610	555	560	562	552	597	611	
人件費				862	1,708	1,708		
【事務分担量】（%）				10	20	20		
合計（+）	610	555	560	1,424	2,260	2,305	611	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	610	555	560	1,424	2,260	2,305	611	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	参加企業数	14	13	14	14	15	17	
	参加学生・生徒数	20	20	20	20	20	20	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	受入企業謝礼	523	受入企業謝礼	550	受入企業謝礼	550
	一般需用	消耗品	21	消耗品	32	消耗品	46
	役務費	保険料	8	保険料	15	保険料	15

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	参加企業数	14	15	17	9	10	
	参加学生・生徒数	19	19	20	10	10	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・受入企業が固定化しているため、新たな受入企業の参加を促すことが必要。 ・ハローワークや学校独自のインターンシップが行なわれていることから、今後区が主体的に実施する必要性等について検討が必要。
他区の実況	（ 実施 2 区 未実施 20 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区報や企業巡回等を活用し、新たな受入企業の参加を促す。	生徒等が、身近な企業の様々な分野の技術や製品づくりを体験することにより、ものづくりへの関心や興味が高まるとともに、区内企業が優秀な人材の雇用促進を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	見直し	区内企業の経営者の高齢化及びその後継者難によって事業の承継が困難となっており、特にモノづくりの現場においては、若者のモノづくりに対する関心の低下等により技術・技能の円滑な承継が難しくなっている。しかし、当該事業については、学校独自のインターンシップ事業を行うなど、事業開始時とは状況が変化していることから、当該事業のあり方を含め再検討する必要がある。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	荒川マイスター表彰事業	部課名	産業経済部経営支援課	課長名	石原 久
		担当者名	古瀬秀幸	内線	459
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	荒川マイスター事業(54-35-50-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	6年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	活力ある地域経済づくり[05]			
	施策	技術・技能承継の支援[05-06]			
目的	区内において永く同一職業に従事し、高い技術と卓越した技能を習得し、それらの技術をもって後進の指導、育成に力を注いでいる者を表彰し、荒川区の産業を支える技術・技能の継承並びに後継者育成を図る。				
対象者等	【次の三条件を満たす者】 1 区内在住在勤で同一職業に30年以上従事し、50歳以上の者。 2 高い技術と卓越した技能を持ち、後進の指導・育成に積極的な者。 3 荒川区文化財保護条例第2条第2号の規定（無形文化財）に基づく同条例第4条第1項に登録された荒川区登録無形文化財保持者でない者。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象資格を満たす者で自薦・他薦などによる応募者を候補者として、選考審査会を経て区長が決定。 ・表彰者には賞状及び記念品を授与する他、表彰パネルを作成し産業展等で掲示しPR。 ・平成20年4月から本庁舎1階の展示コーナー（整備は3月末）に荒川ブランドとして、マイスター製品を展示し、区内外からの区役所来訪者に荒川マイスター制度とマイスター受賞者及び製品を紹介。 <p>募 集：7月中旬区報で募集、締切 8月末、職員による取材9月中旬、選考審査会 9月下旬 表 彰 式：11月初旬（サパール荒川3階小ホール） 受賞者発表：11月下旬区報、12月産業ニュース</p>				
経過	平成6年度	荒川区技能功労者表彰制度として発足			
	平成7年度	J・荒川マイスター倶楽部を結成（荒川マイスター表彰者で結成した任意団体）			
	平成9年度	荒川マイスター制度に改称			
	平成12年度	表彰式後の懇親会を休止			
必要性	技術・技能の継承、後継者育成に向けた、職人のモチベーション向上の観点から必要性は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
		予算額	357	351	349	343	343	558
	決算額（20年度は見込み）	297	189	153	112	142	190	1,955
	人件費				2,586	2,562	1,708	
	【事務分担量】（%）				30	30	20	
	合計（+）	297	189	153	2,698	2,704	1,898	1,955
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	297	189	153	2,698	2,704	1,898	1,955
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	表彰者数	5	2	1	1	2	1	
	マイスター累計	49	51	52	53	55	56	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	選定委員会委員謝礼	21	選定委員会委員謝礼	21	選定委員会委員謝礼	61
	食糧費	選定委員会委員賄い	1	選定委員会委員賄い	1	選定委員会委員賄い	1
	一般需用	バッジ、消耗品等	33	バッジ、消耗品等	123	バッジ、消耗品等	876
	役務費	表彰状筆耕料	14	表彰状筆耕料	7	表彰状筆耕料	22
	委託費	パネル作成等	71	パネル作成等	37	パネル作成・記念品等	993
	使用料及	会場使用料	2	会場使用料	2	会場使用料	2

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	マイスター認定者数	1	2	1	1	1	

（問題点・課題）	区内産業の活性化、マイスターのモチベーション向上のため、マイスターの技術・技能を、さらに広く区内外に周知する取組みが必要である。
他区の実況	（ 実施 4 区 未実施 18 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
マイスターを紹介するパンフレットを作成し、区内外のイベント等で配付するとともに、引き続き庁舎1階の展示コーナーにマイスター製品を展示・紹介する。	職人の技に対する関心や興味を集めることにより、マイスターの知名度が高まり、モチベーション向上や販路拡大につながる。
荒川マイスターと区内企業の若手技術者との交流を図る場を検討する。	荒川マイスターが有する技術の継承機会の創出、若手技術者の技術向上に対する意識啓発が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	本事業は、高度な技術・技能を有する職人のモチベーション向上と、技術・技能の向上、承継を図るのもので、区内産業の活性化のためには重要。

議会議決要旨	
--------	--